

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

実施機関：長岡技術科学大学（総括責任者：鎌土 重晴）

共同実施機関：長岡工業高等専門学校、株式会社イトラスト

取組の概要

1. 連携体制による支援基盤の確立

「ものづくり地方都市の持続的発展に向けたダイバーシティ環境の実現」をテーマに、3機関が連携して、仕事と生活を両立させながら、女性が能力を発揮できる環境を整える。女性の研究力やマネジメント力を強化する取組を行うことで、優れた工学系女性研究者を増やし、女性の採用や上位職の増加につなげる。

2. 目標達成に向けた取組

- (A) トップの強力なリーダーシップによる女性研究者の採用・登用
- (B) 組織全体の意識改革
- (C) 女性・若手研究者の研究・キャリア支援
- (D) ライフイベント支援
- (E) 教育研究機関・企業・地域の連携による女性・若手研究者の育成

3. 連携3機関と協力7機関との継続的な情報交換

課題を共有し成果を発信することで地域への波及に努める。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

代表機関のリーダーシップの下、新潟県内の工学系の大学、工業高等専門学校、企業が連携し、ダイバーシティ推進へ向けた意識改革に取り組むとともに、教員の女性限定公募や女性優先公募、クロスアポイントメント制度を活用した外国人女性研究者を含む女性研究者の採用といった取組を導入し、女性研究者・技術者の採用、上位職への登用を積極的に進めた。代表機関においては、12名の女性教員の採用、連携機関においては、初の女性教授、初の女性課長の誕生という成果が挙がっており評価できる。さらに、3連携機関に加え、新潟県内19機関が協力機関として参画する「ながおかダイバーシティ・コンソーシアム」の開設へ向けた取組が順調に進められており、新潟県内への高い波及効果が期待できる。今後は、女性研究者在職比率、管理職比率等に係る意欲的な目標の達成に向け、更に実効性の高いポジティブ・アクションを進めることを期待する。

- ・ **目標達成度**：各連携機関で意識改革が進み、目標達成に向けて教員の女性限定公募や女性優先公募等の取組が実施された。しかしながら、女性研究者の在職比率、特に管理職比率については目標を大幅に下回った。今後は、目標達成に向け、より実効性の高いポジティブ・アクション

ンを策定し、確実に実施し成果を挙げることを期待する。

- **取組**：教員の女性限定公募や女性優先公募、クロスアポイントメント制度を活用した女性研究者の採用、Uターン・Jターン採用等、戦略的な取組を実施し女性研究者の採用を積極的に進めたことは評価できる。また、アンコンシャス・バイアス研修、大学院におけるダイバーシティに係る講義の開講等、機関のより広い層を対象とした意識改革に取り組むとともに、「ながおかダイバーシティ・コンソーシアム」の開設を目指しており今後の展開が期待できる。
- **取組の成果**：代表機関において、これまで女性教員が不在であった電気電子情報工学専攻で4名の女性教員が誕生したこと、共同実施機関の長岡工業高等専門学校において女性教授が増加したこと、(株) イートラストにおいて機関初の女性課長が誕生したことは評価できる。また、「女性研究者代表共同研究支援制度」の支援を受けた女性研究者の科研費新規採択率が、顕著に上昇する成果が挙げられた。
- **実施体制**：代表機関の学長のリーダーシップの下、3連携機関の長及び実施責任者から成る「ダイバーシティ連携推進会議」を創設し、女性研究者・技術者の活躍促進を図る連携体制を構築したこと、また、各連携機関の実務担当者による打合せを毎月実施し、実務者レベルの密接な連携を図ったことは評価できる。
- **今後の進め方**：代表機関のリーダーシップが発揮される体制が構築されており、事業の新たな展開が期待できる。今後は、未達の目標の達成へ向け、実効性の高い改善策を検討するとともに、県内コンソーシアムを早期に始動させることを期待する。